

第2次 とよなか水未来構想

計画期間：2018年～2027年

将来像 1

いつでも安心して利用できる水を供給します



安全できれいな水道水をお届けするため、高度な浄水処理と水質管理を実施しています。また、子どもたちが水道水に親しみを持てるように、市立小学校に飲み水栓(写真左)の設置を進めています。

快適な暮らしとまちづくりを支えます

豊中市内の水道施設や下水道施設は昭和50年ごろ(1970年代半ば)までの高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化が進んでいるため、計画的な点検と整備を進めています。



新しい管は100年以上の使用期間を見込んでいます

将来像 2



将来像 4

環境にやさしい事業を展開します



浄水池からの落差を利用した小水力発電や、施設の一部を利用した太陽光発電(写真上)など、エネルギーの創出に取り組んでいます。また、下水で川や海を汚さないようにするため、下水処理場の設備を増強するなど、対策を進めています。

次世代につなげるために経営基盤を強化します

将来像 5

公設公営による経営を基本姿勢に、効率的な経営を進めています。また、更新事業や災害対策を継続的に実施し、将来にわたって健全な上下水道を利用できるように、合理的で公平な料金・使用料体系について検討を進めています。

将来像 3

災害に強い上下水道を構築します

地震に備えて、水道管・配水池や下水処理場・ポンプ場の耐震化を進めています。また、局地的大雨による浸水被害を軽減するため、雨水管など(原田中央幹線(中桜塚～曾根東町))の整備に取り組んでいます。



地震など地盤の揺れに強い水道管(耐震管)

大口径の下水道管築造工事に使う大型掘削機(シールドマシン)

将来像 6

お客さまに満足していただける事業活動を実施します

広報誌やホームページなどを用いた情報発信のほか、出前教室(写真右)・出前講座や施設見学などを通して、上下水道に対する理解を深めていただくとともに、お客さまの意見を事業運営に反映させていきます。また、地震などの災害に備えて活用いただけるよう、ハンドブック(写真左)を作成するなど、啓発活動を行っています。



「第2次とよなか水未来構想」についてはこちら▶

お問い合わせ 経営企画課 電話：6858-2921

